

# 個人投資家向け説明資料



**小野建株式会社**

**2016年8月23日**

- I. 当社概略、取扱い品種、所有の物流センター
- II. 商品の流れ、鉄が使われる場所、国内出荷数量との比較
- III. 小野建の現在と今後の戦略、基本事業戦略
- IV. 株主還元・株価指標について

## 本資料および将来の見通しに関する注意事項

本資料は事業内容等に関する情報提供を目的としており、当社株式への投資を推奨するものではありません。また、資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

商号

小野建株式会社

設立

1949年8月

代表者

小野 建

資本金

37億8,053万円

連結売上高

1,896億7,700万円

従業員

600 人

上場取引所

東京①・福岡(7414)

本社

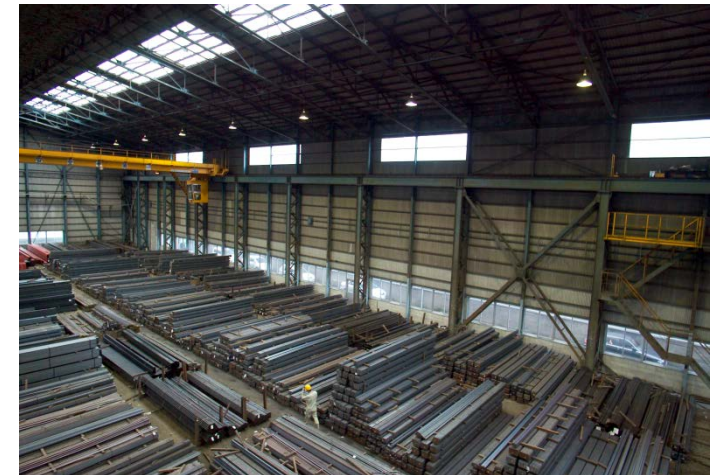
福岡県北九州市

業種

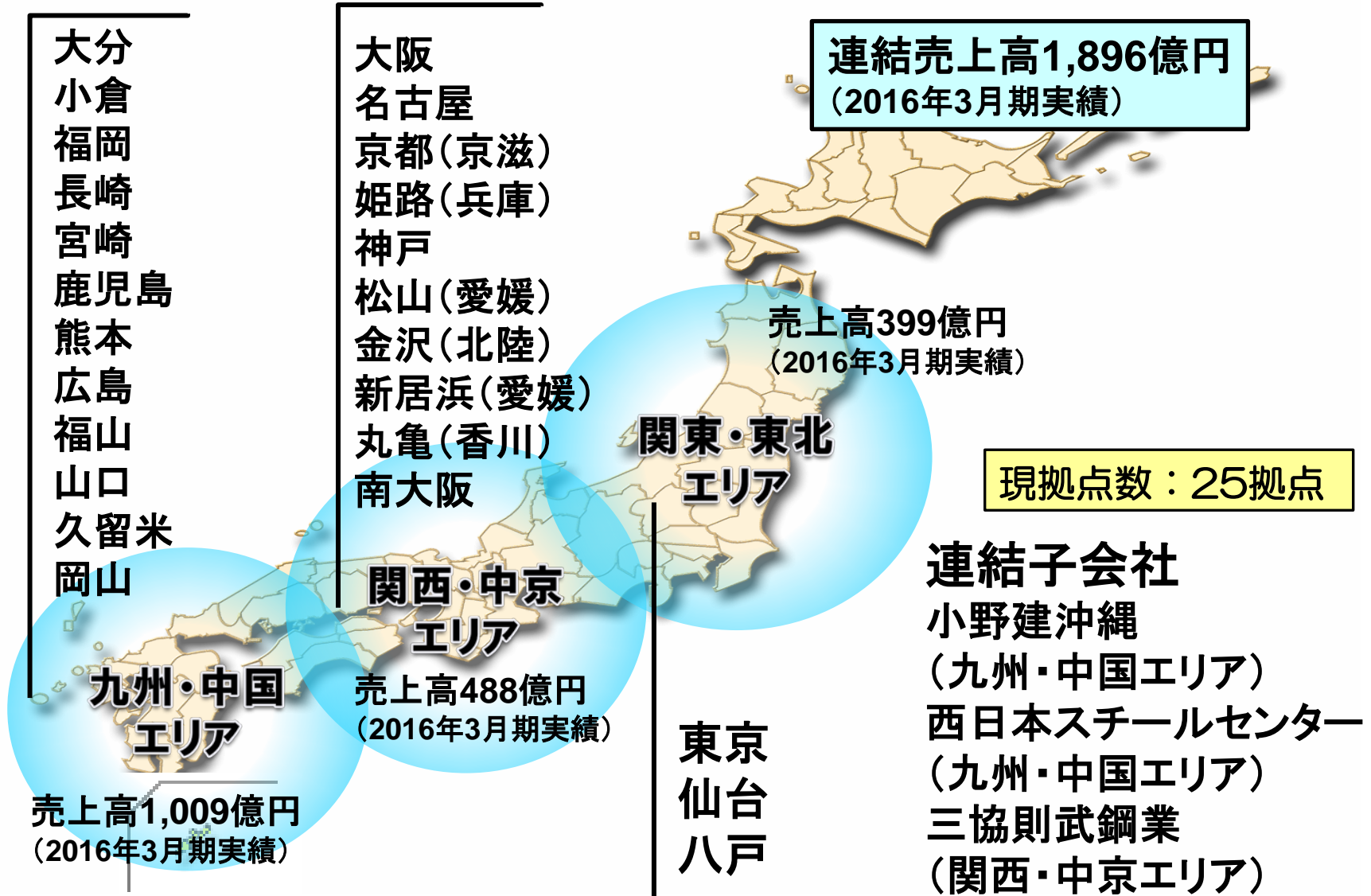
鉄鋼・建材流通商社



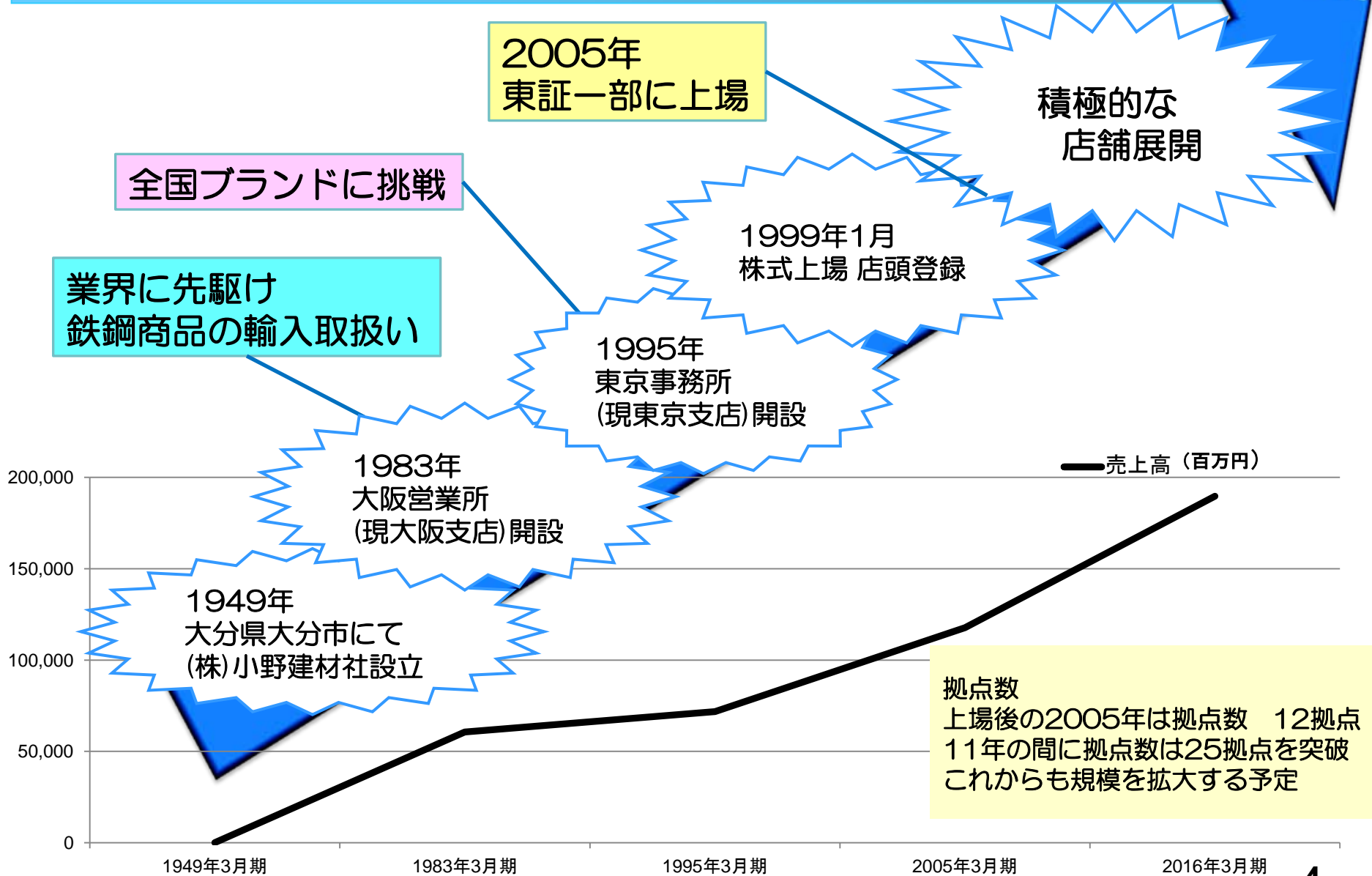
小野建株式会社 本社・小倉支店



小倉支店 倉庫内



# 小野建の歩み

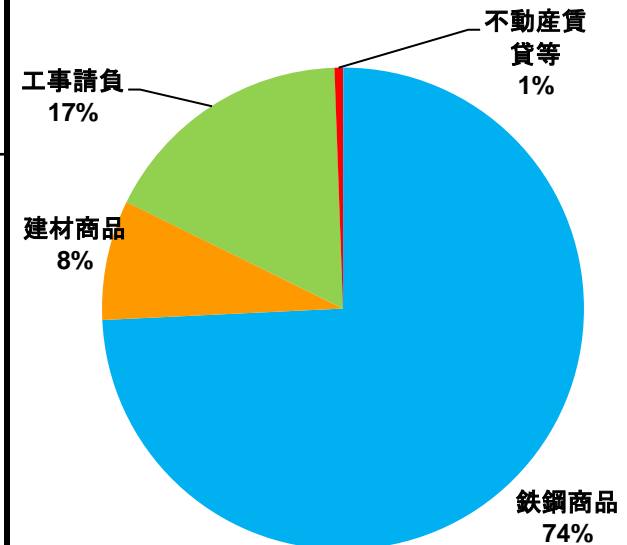




# 取扱い品種

	主要商品	主要販売先	主要メーカー
鉄鋼商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鋼板</li> <li>・コイル</li> <li>・線材(普通鉄線)</li> <li>・形鋼(H形鋼・山形鋼・他)</li> <li>・パイプ(構造用鋼管・他)</li> <li>・鉄筋コンクリート用棒鋼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄工業、造船業</li> <li>建設業</li> <li>機械製造業</li> <li>・コイルセンター</li> <li>・二次製品製造業(金網・釘・他)</li> </ul>	<p>新日鐵住金、JFEスチール 東京製鐵、大阪製鐵、 共英製鋼等、国内メーカー</p> <p>鞍山鋼鉄、上海宝山鋼鉄 現代製鐵、POSCO 中国鋼鉄、NZS 等、海外メーカー</p>
建材	<p>建築・土木資材 (建築金物・セメント・コンクリート二次製品・ヒューム管・矢板・フェンス・他)</p>	建設業	<p>三協立山、パナソニック電工、太平洋セメント、三菱マテリアル建材、日鐵住金建材、朝日スチール工業、他</p>
工事	<p>各種工事(鉄骨・基礎・屋根・外壁・建具・他)</p>		

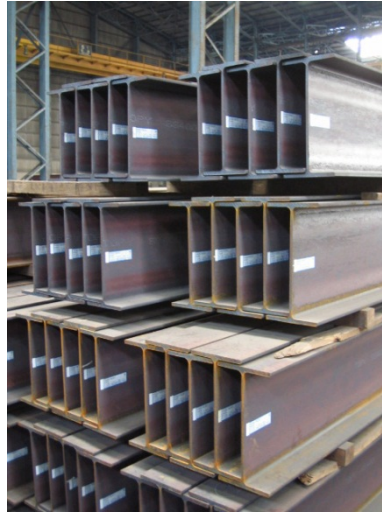
- 鉄鋼商品の扱い品種はおよそ5000種以上、国内外を問わず豊富な仕入ソースを持つ
- 屋根材や壁材等建材商品取扱いも強化し、鉄骨工事など工事請負も拡大中



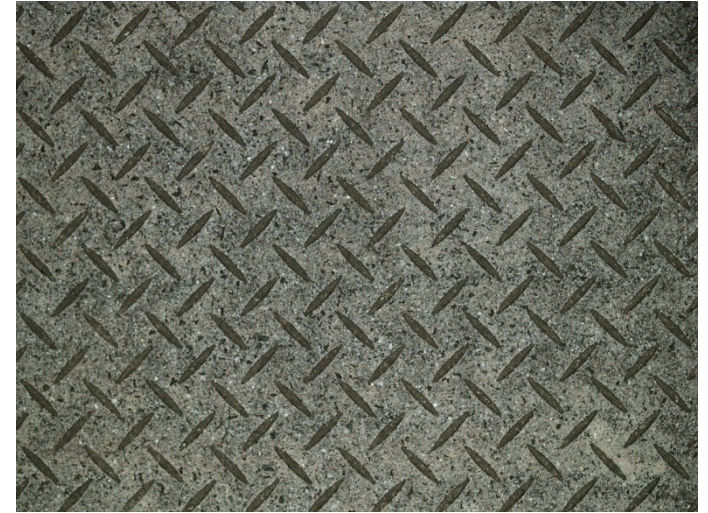
※2016/3期 売上高の内訳



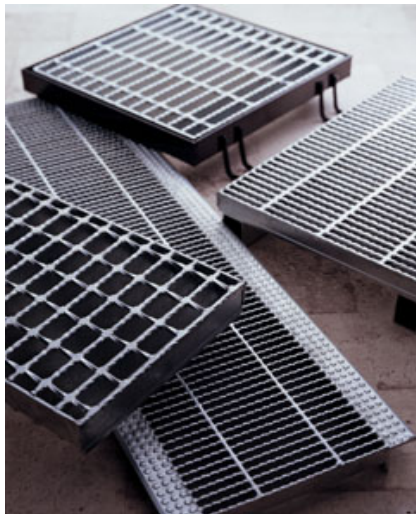
鋼板の材料となる熱延コイル



H型鋼



縞鋼板(滑り止めの鉄板)



グレーチング



建物の骨組みとなる鉄骨



縞鋼板を階段に加工したもの



# 当社所有の物流センター



当社東京支店川崎センター



当社福岡支店加工ライン



当社福岡支店



当社子会社コイルセンター



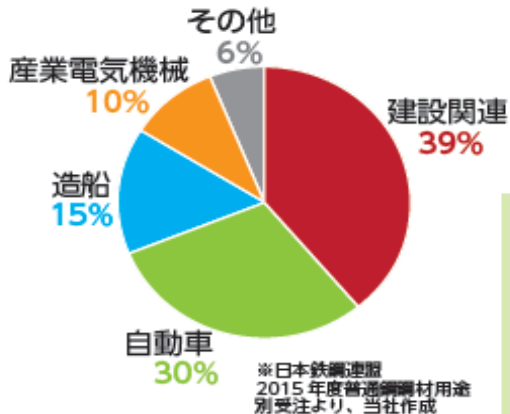
## 従来の流れ

メーカー

新日鐵住金・JFE・大阪製鐵・  
共栄製鋼・東京製鐵

商社・流通商社

総合商社 専門商社 小野建



## 新しい流れ

POSCO (韓国)  
宝山鋼鉄 (中国) 等主要国内外各社

小野建

商社

+

1次加工  
切断  
穴あけ  
曲げ

ユーザー

建設関連



造船

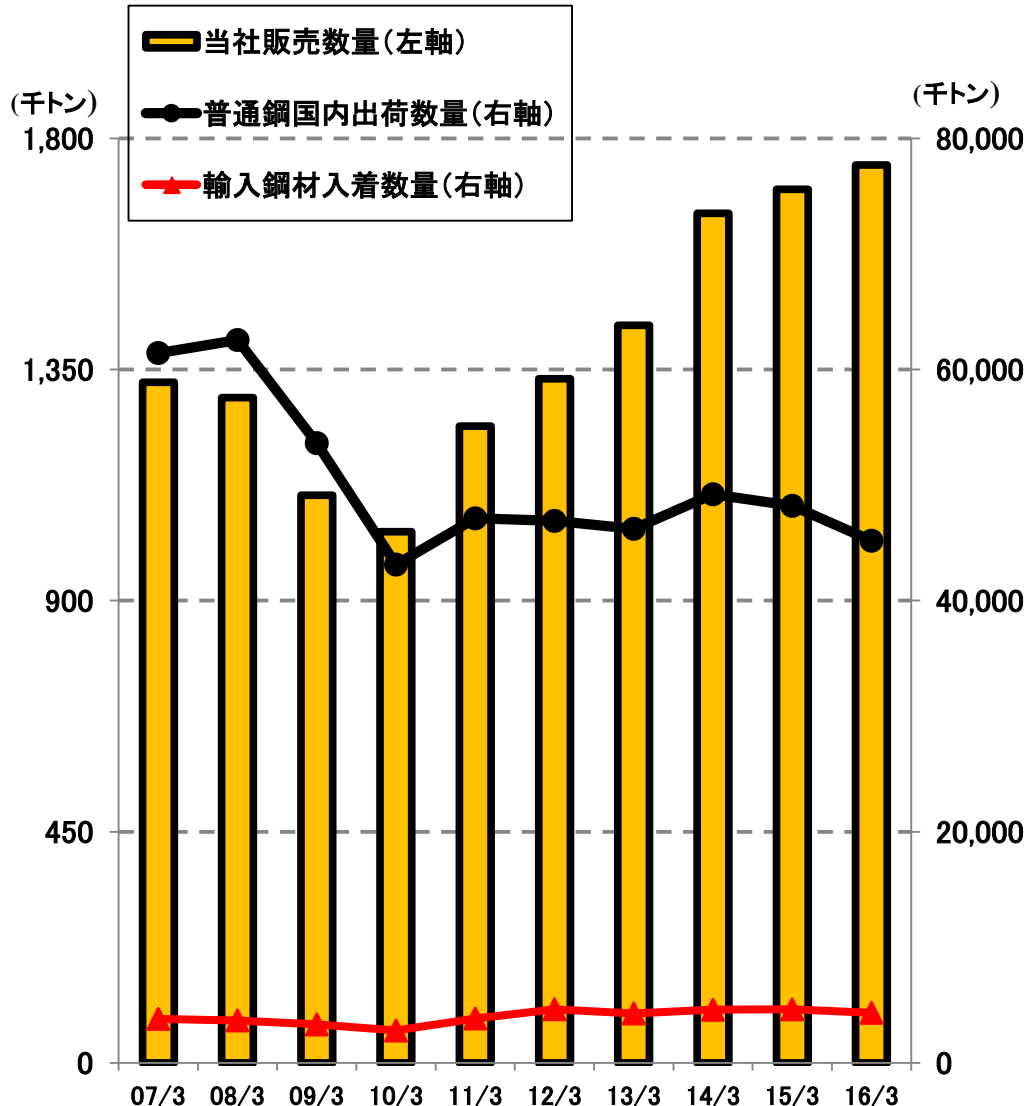


産業・建設機械



# 福岡での納入実績(例)





※日本鉄鋼連盟資料より当社作成

## 【市場との比較】

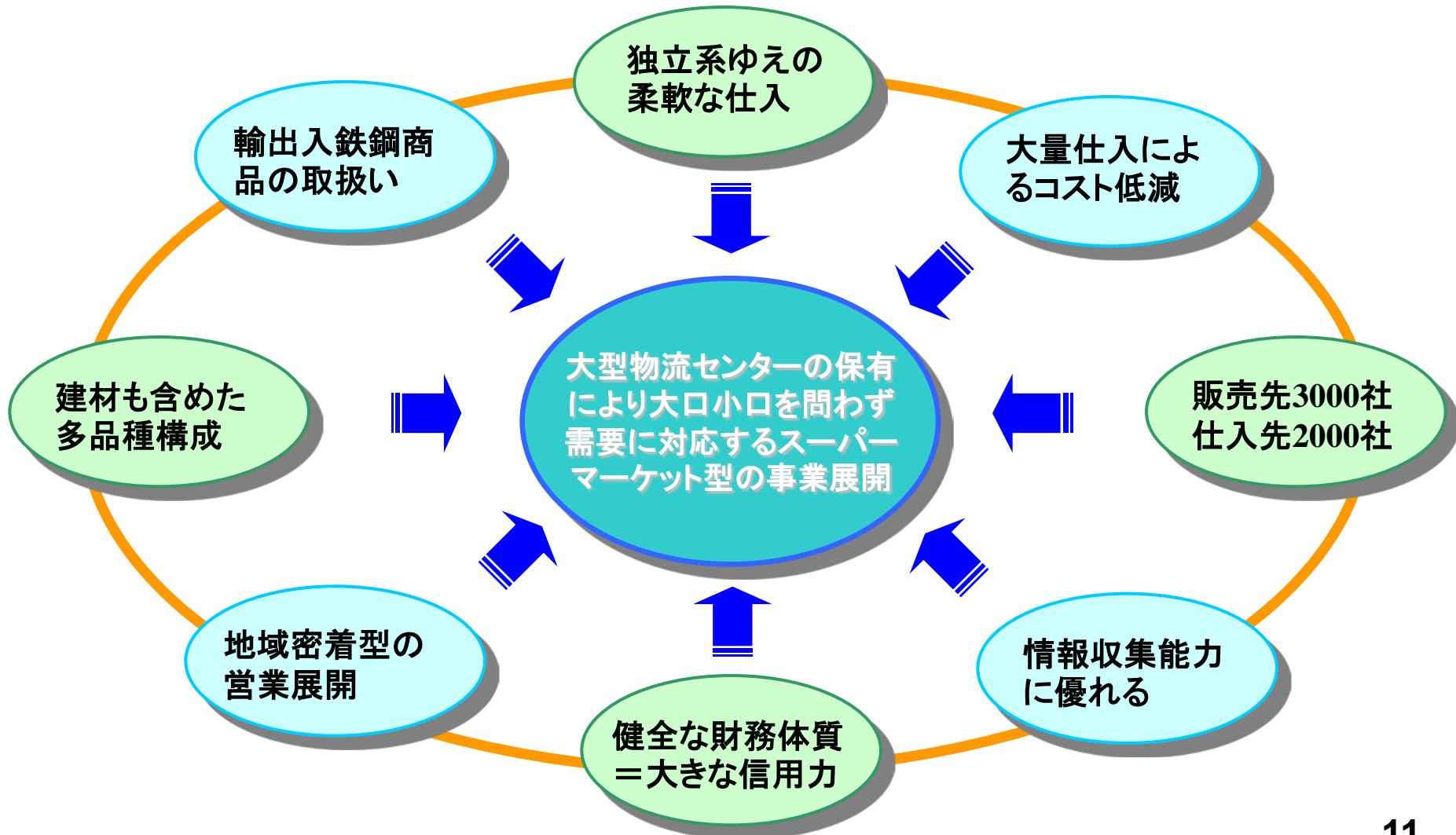
- 普通鋼国内出荷数量は、近年若干の減少傾向にある中、当社の販売数量は順調に増加
- 今後もシェアを拡大し、販売数量を伸ばしていく(約2%)

市場は縮小していくことが予想されるが、

**小野建の強みを活かして**  
**生き残りへ**



## 物流センターを活用した「鉄と建材のスーパーマーケット」



## 【現在の状況と周辺環境】

- 足元の市況は、今後の中国の動向並びに為替動向が国際マーケットに大きな影響を及ぼし、不安定な要因となる
- 需要動向に関して、足元は若干弱いものの、東京オリンピック並びにアベノミクス効果もあり、今後の需要増加は都市部を中心に期待できる
- 大型(公共・民間共)工事が発注もしくは発注見込みで、特に鉄骨ファブリーケーターは活況

### 【 これからの小野建の課題と展望 】

- 長期的には人口の減少にともない需要の縮小が予想される中で、いかに必要とされる企業となり、勝ち残ることができるか？  
(現在、業界内社数 約800社 ⇒5年後は約500社を予想)
- 現在2%程度の市場シェア率を10%まで伸張させるには？
- 輸入鋼材の活用など、さらなる販売品種の拡大を目指すには？

**顧客のニーズを的確に捉え、  
なくてはならない存在へ！**



# 販売エリアの拡大とシェアの向上

## • 地域密着型の営業展開

- 各地それぞれのニーズに対応し、取扱い品種を変化させる
- 鉄鋼商品だけでなく工事を含む建材部門も含め多様な販売先を持つ
- 地域一番店の集合体＝全国№1の鉄鋼・建材流通商社

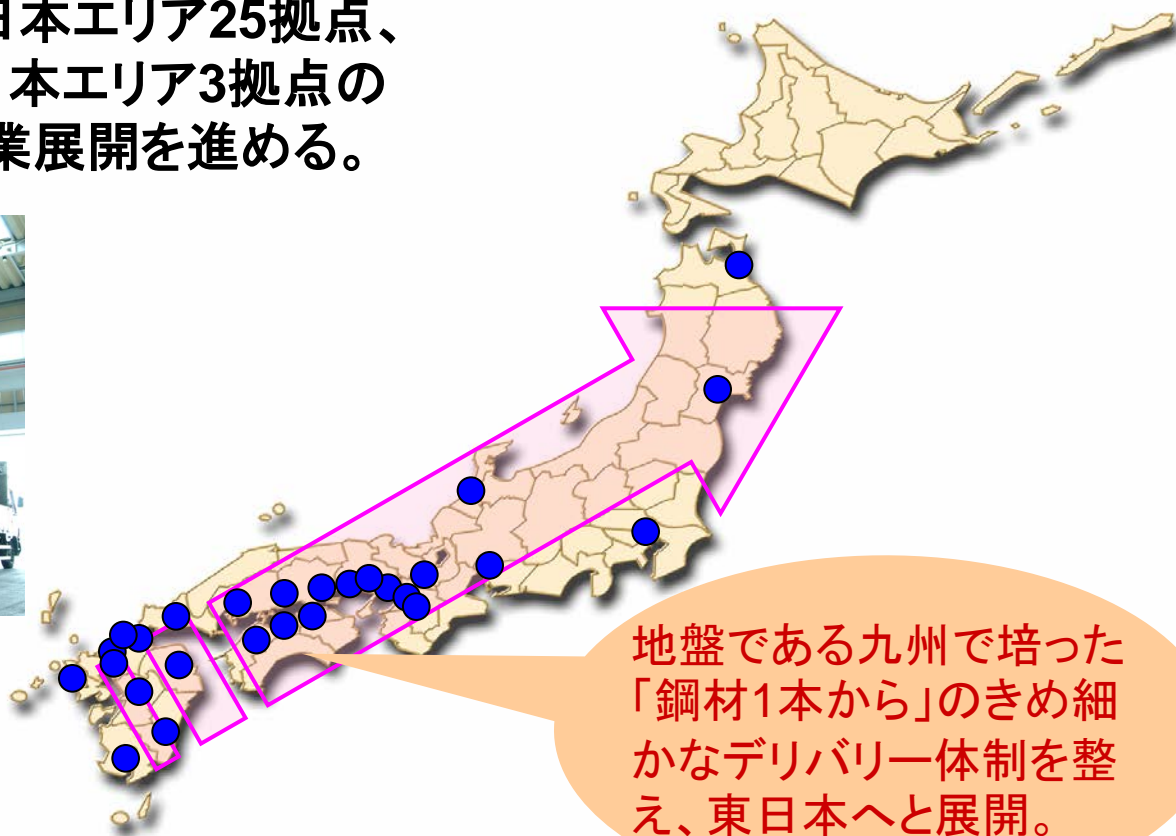
## • 物流センターを活用した多品種構成

- マーケットが縮小しているなか、鋼材のダム機能としての役割を拡充
- ユーザー直結の川下戦略を徹底し、販売先数を拡大
- 鉄鋼流通業界において、豊富な在庫を持って商売を行うことは大きな強み
- 素材販売のみならず加工分野を強化し、付加価値を向上

## • 国内外を問わない柔軟な仕入ソース

- 独立系であり販売力があることが国内メーカーとの関係強化に結実
- 30年来培った輸入鋼材活用のノウハウは大きな特長

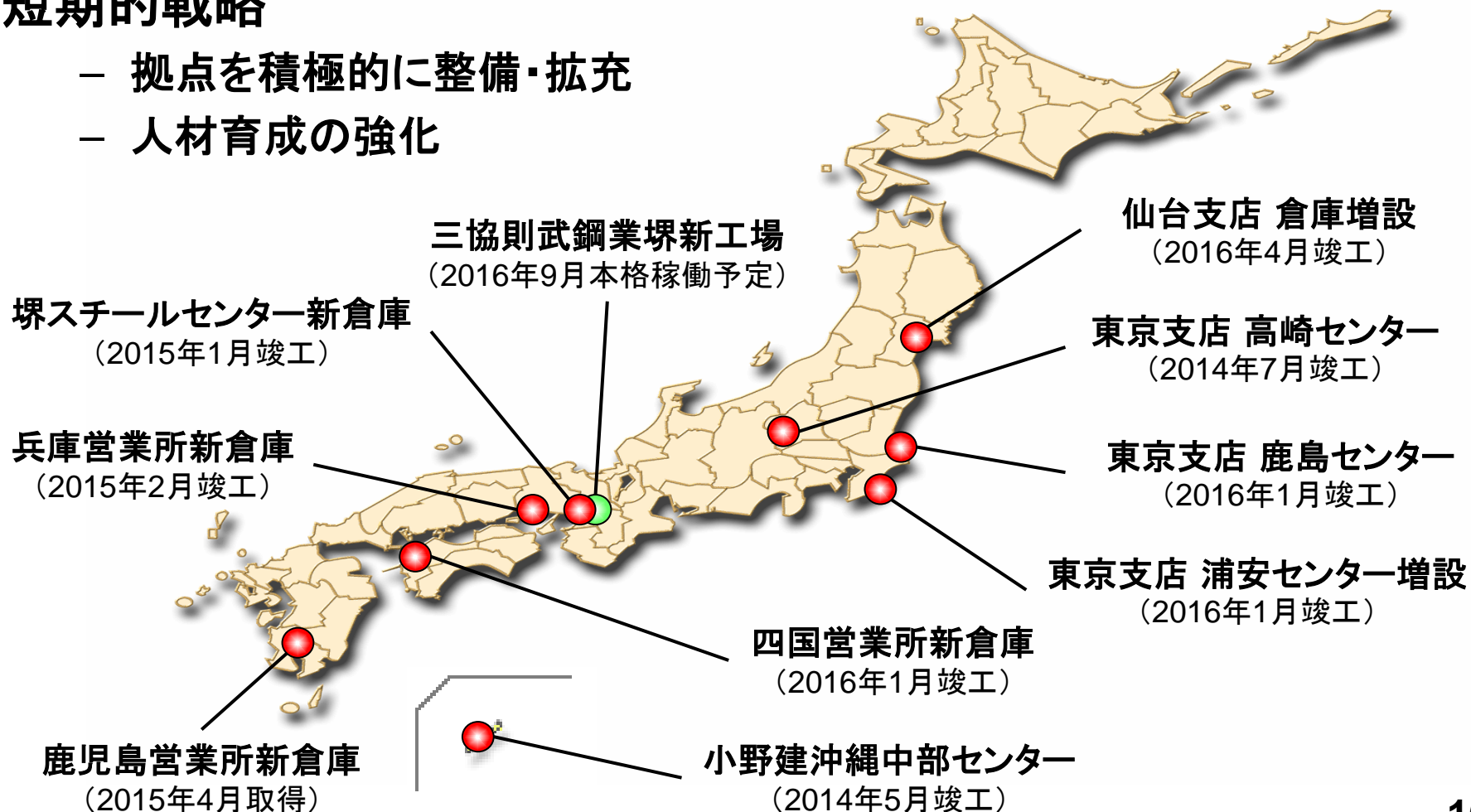
- 「多品種・迅速」の供給体制確保がカギ
  - － 大型物流センターを軸とする多品種大量の「スーパーマーケット戦略」に最重点を置き、グループ全体で西日本エリア25拠点を、東京を軸にした東日本エリア3拠点の合計28拠点にて営業展開を進める。



各地域に根差し、地域と共に発展できるグローバル企業を目指す

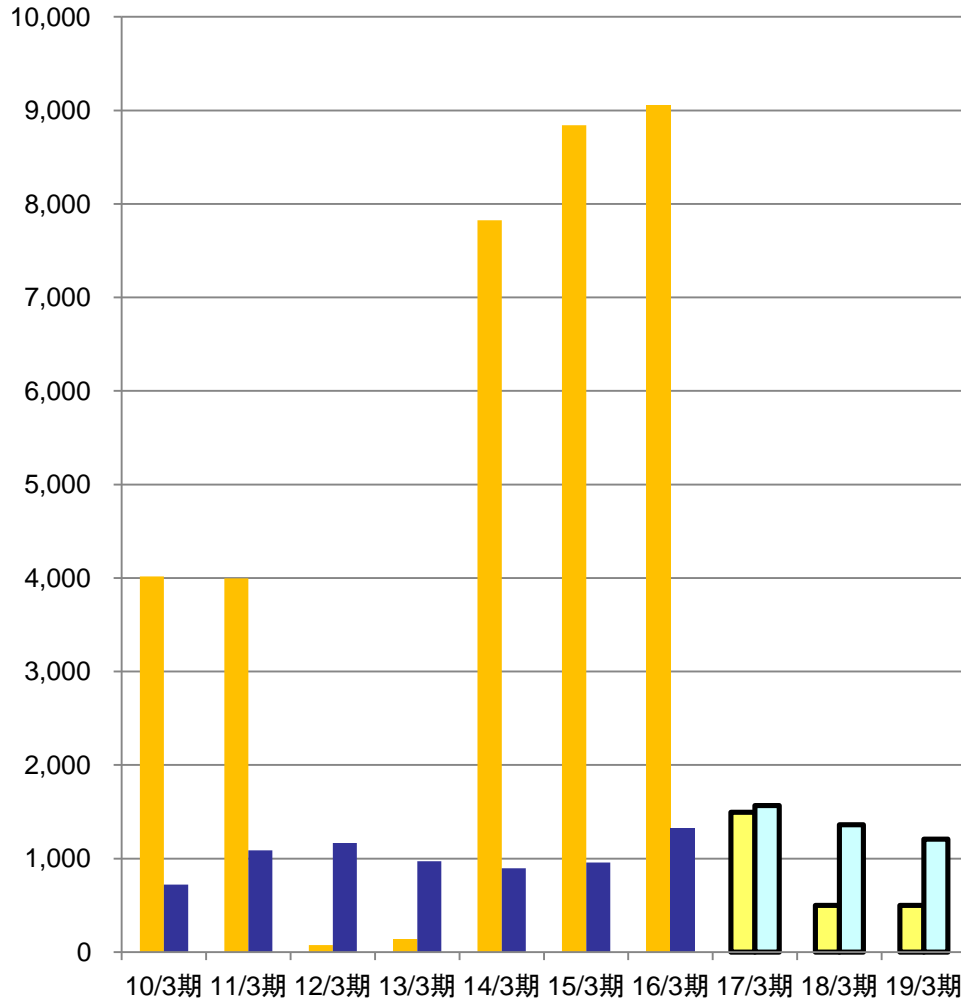
## 短期的戦略

- 拠点を積極的に整備・拡充
- 人材育成の強化

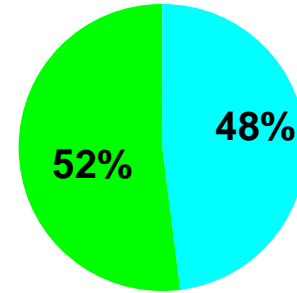




(百万円)      ■ 設備投資   ■ 減価償却

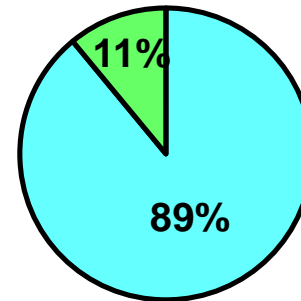


## 16/3期 設備投資額



- 九州・中国・沖縄エリア
- 関西・中京・四国エリア
- 関東・東北エリア

## 17/3期 設備投資計画



- 九州・中国・沖縄エリア
- 関西・中京・四国エリア
- 関東・東北エリア

# 連結貸借対照表



※主要項目のみ記載しております  
(百万円)

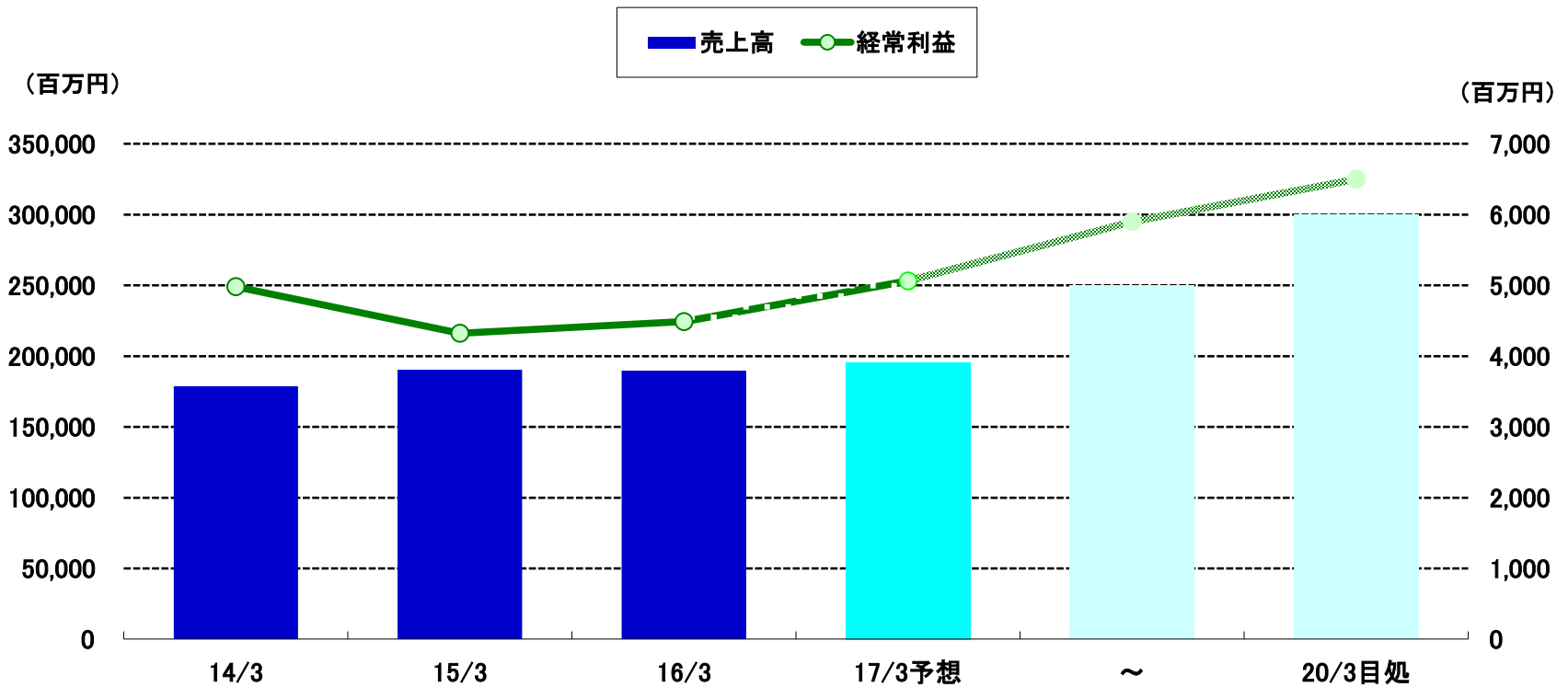
	14/3 実績	15/3 実績	16/3 実績
<b>流動資産</b>	82,604	88,677	76,200
現金及び預金	2,424	2,709	2,646
受取手形及び売掛金	60,555	59,672	53,833
商品及び製品、原材料及び貯蔵品	16,106	21,217	15,412
<b>固定資産</b>	36,603	44,383	51,945
<b>資産合計</b>	119,207	133,060	128,146
<b>流動負債</b>	60,513	71,168	63,463
支払手形及び買掛金	35,925	32,277	27,346
短期借入金	19,800	34,006	30,264
<b>固定負債</b>	6,438	7,424	7,889
社債	5,024	5,019	5,014
長期借入金	—	731	1,170
<b>負債合計</b>	66,952	78,592	71,353
<b>株主資本</b>	51,859	54,020	56,516
資本金	3,780	3,780	3,780
<b>純資産合計</b>	52,255	54,468	56,793
<b>負債・純資産合計</b>	119,207	133,060	128,146
<b>自己資本比率</b>	<b>43.7%</b>	<b>40.9%</b>	<b>44.3%</b>

(百万円)

	14/3期 実績	15/3期 実績	16/3期 実績	17/3期 計画
<b>売上高</b>	178,653	190,414	189,677	195,595
<b>売上総利益</b>	14,086	13,155	14,876	15,917
<b>営業利益</b>	4,778	4,133	4,292	4,912
<b>経常利益</b>	4,982	4,324	4,488	5,064
<b>親会社株主帰属 当期純利益</b>	3,760	2,973	3,304	3,547

## 中期的戦略

- 営業拠点の拡充
  - ↳ 新物流センターを活用し、さらにエリア拡大をスピードアップ
- 各地域でのM&Aも含め勢力圏の拡大を目指す





## 着実な利益＝着実な配当

- 安定、かつ高い水準の利益還元を継続的に行う
- 中間配当制度を活用し、9月末日、3月末日の年2回、株主の皆様への配当を実施

実績PBR(純資産倍率) → **0.46倍**

予想PER(株価収益率) → **7.15倍**

予想配当利回り → **3.68%**

※数値は株価 1,223円(8/22終値)をベースとして

